

# 京都大学埋蔵文化財調査報告

## 第 1 冊

— 京大農学部遺跡 B G 36 区 —

京都大学埋蔵文化財研究センター

## 序

京都大学のキャンパス内には、縄文時代以降の各種の遺跡が存在することは、周知の事実である。ただ、それらについての学術的調査は、文学部考古学講座の初代の教授であった浜田耕作が、大正12年に行なった農学部構内遺跡の発掘が最初であり、それ以降、最近まで、ほとんどなされなかった。

昭和47年頃から、大学構内における建設工事に伴って、遺跡の調査をする気運が高まり、関係教室の手によって発掘調査がなされるようになった。しかし、建設工事の数量が増すにつれて、調査の仕事もまし、個々の調査の内容を整理・検討して、調査報告書を刊行するゆとりがなくなってきた。その成果をまとめ、学術調査としての終りをまっとうするためには、独立の研究機関をつくることが要望された。そして迂余曲折はあったが、昭和52年6月に京都大学構内遺跡調査会が発足し、同年7月には、京都大学埋蔵文化財研究センターが設立された。とくに、調査報告書の作成は、センターの主要業務の一つとなったのである。

そこで、手はじめとして、昭和47年以降からなされた調査の報告書の作成を鋭意努力したのであって、今回、その第1冊目が完成したのである。その内容とする農学部遺跡BG36区の調査を指導された小林行雄名誉教授以下の諸氏は、今日、すでに京都大学を離れておられるが、本報告書の作成に関し、最後まで御協力をいただいた。

本書の刊行によって、当センターはようやく所期の方向へ歩みだしたことになるが、こ

れを機会に、センター設立に全面的御協力をいただいた、岡本道雄総長、篠沢公平前事務局長をはじめとする京大本部ならびに施設部当局、藤沢令夫・山田晶前文学部長、横尾義貫前工学部教授、小野山節文学部助教授その他関係諸氏に対して、感謝の意を表したい。

昭和53年9月

京都大学埋蔵文化財研究センター長

樋口隆康

## 例 言

- 1 本書は昭和47年11月8日から同14日および昭和48年3月1日から同5日にかけて実施した京都市左京区北白川西町の京都大学農学部ガラス温室予定地(京大農学部遺跡 BG 36区)発掘調査の報告書であり、京都大学埋蔵文化財調査報告第1冊にあたる。
- 2 発掘調査は小林行雄(現京都大学名誉教授)の指導のもとに、中村徹也(現山口県教育庁文化課埋蔵文化財係長)と中村友博(現奈良国立文化財研究所技官)が実施し、報告書作成の事業は昭和52年7月5日に設立された京都大学埋蔵文化財研究センターが引き継いだ。
- 3 国土座標に従って1辺50mの方形の地区割をし、遺跡の位置を表示した(第1図)。南から北へAZ-A Y-B A-B Bと変わるアルファベット2文字と西から東へ増加する数字で示し、BB20区の北西の角が国土座標( $x=-108,000$   $y=-20,000$ )京大構内座標( $X=2,000$   $Y=2,000$ )となる。
- 4 方位TNは真北、MNは磁北をさす。
- 5 遺物番号は土器と瓦に別けて通し番号を付し、実測図と写真の表示を統一した。
- 6 遺構と遺物の実測と製図および写真撮影の担当者名は目次に記した。
- 7 参考文献は本文中に〔著者名、発表年次〕の形式で表わし、本文末に一括した。
- 8 本報告書は京都大学埋蔵文化財研究センター研究部が計画・立案し、小林行雄の監修のもとに中村徹也、宇野隆夫(京都大学埋蔵文化財研究センター助手)、上原真人(京都大学文学部大学院博士課程3年考古学専攻)が分担執筆した。執筆者名は目次に記した。
- 9 編集は宇野が行なった。

## 目 次

第1章	はじめに	(中村, 宇野)	1
1	遺跡の立地と歴史的環境	(宇野)	1
2	調査に至る経過	(中村)	2
3	調査の経過と以後の措置	(中村)	4
第2章	層位と遺構	(中村)	7
1	層位		7
2	遺構		8
第3章	遺物	(宇野, 上原)	11
1	瓦	(上原)	11
2	土器と陶磁器	(宇野)	20
第4章	考察	(上原)	23
1	中央官衙系瓦屋の製品にみる箆記号について		23
2	遺跡の性格と年代		39
参考文献			44

## 図版目次

- 1 遺跡 1. ガラス温室予定地の層位と瓦溜 2. 埋め戻し前の瓦溜 (中村徹也・中村友博撮影)
- 2 軒丸瓦 (上原撮影)
- 3 軒平瓦 (上原撮影)
- 4 軒平瓦と堤瓦 (上原撮影)

- 5 丸瓦と平瓦 (上原撮影)
- 6 平瓦 (上原撮影)
- 7 軒瓦と堤瓦 (上原拓本・実測・製図)
- 8 丸瓦と平瓦 (上原拓本・実測・製図)

## 挿 図 目 次

1	調査地点と周辺の遺跡 (宇野製図).....	3
2	元禄9年京都絵図 (吉田武尊氏提供).....	5
3	調査地点と周辺の地域 (昭和53年撮影).....	7
4	埋設管予定地の層位 (中村徹也・中村友博実測, 宇野製図).....	8・9
5	ガラス温室予定地の層位 (中村徹也・中村友博実測, 宇野製図).....	8
6	ガラス温室予定地の瓦溜平面 (中村徹也・中村友博実測, 宇野製図).....	9
7	尊勝寺出土の蓮華文軒丸瓦 (上原作成).....	12
8	延勝寺出土の唐草文軒平瓦 (上原作成).....	13
9	唐草文・波状文軒平瓦 1. 大和法隆寺 2. 摂津四天王寺 (上原作成).....	13
10	蓮華文軒丸瓦 1. 尊勝寺 2. 法勝寺池汀址 3. 円勝寺 (上原作成).....	14
11	図版3の12の拓本合成による瓦当文様復原 (上原作成).....	15
12	剣頭文の割り付け法模式図 (上原作成).....	16
13	剣頭文軒平瓦 1・6. 尊勝寺 2. 鳥羽離宮 3. 円勝寺 4・5・7. 京大病院遺跡 AE15区 (上原作成).....	17
14	布目圧痕の部分写真 1. 綾織(剣頭文軒平瓦15) 2. 粗い平織り(I a類平瓦24) 3. 細かい平織(II b類平瓦29) (上原撮影) .....	19
15	土器と陶磁器 1~5. 土師器 6~8. 瓦器 9. 須恵器 10. 緑釉陶器 11~13. 中世陶器 14・15. 白磁 (宇野実測・製図).....	21
16	筧記号集成(京都大学構内遺跡出土) (上原作成).....	25

## 表 目 次

1	11・12世紀中央官衙系瓦屋の軒平瓦変遷表 (上原作成).....	27
---	-----------------------------------	----